

荒川区 中小企業の景況

目 次

調査の概要.....	1
平成 27 年 10 月～12 月期の都内中小企業の景況.....	2
荒川区の今期の特徴点.....	3
・ 製造業.....	4
・ 卸売業.....	8
・ 小売業.....	10
日銀短観.....	13
東京都の企業倒産動向（平成 27 年 10～12 月）.....	13
中小企業景況調査 比較表（荒川区・全都）.....	14
中小企業景況調査 転記表（推移）.....	16



調査の概要

1. 調査時期 平成 27 年 10 月～12 月期(四半期毎実施)

2. 調査方法 面接聴取調査

3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	136	132
卸 売 業	53	49
小 売 業	100	98
合 計	289	279

4. 未回収事業所数

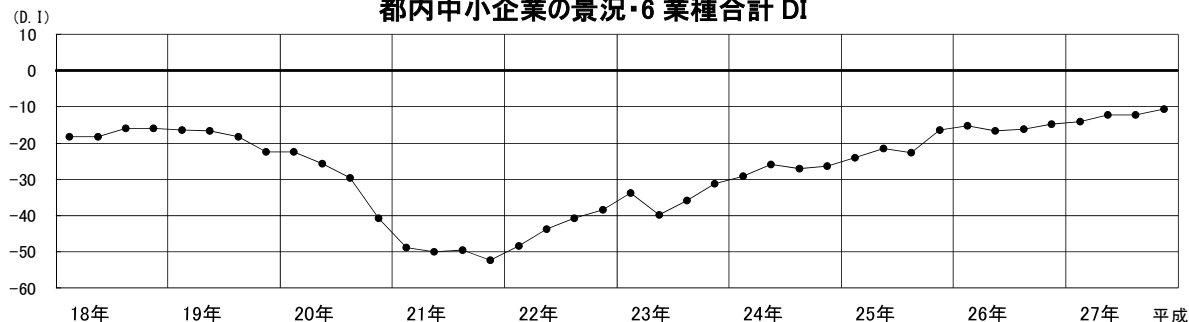
	倒産・廃業	事業転換	移 転	不在が続く	調査拒否	取引解消	休 業	その他	合 計
	4	0	0	1	0	0	1	4	10
製 造 業				1			1	2	4
卸 売 業	2							2	4
小 売 業	2								2

平成 27 年 10 月～12 月期の都内中小企業の景況

不動産業 8 年ぶりにプラスに転じる。

～建設業、堅調に推移～

都内中小企業の景況・6 業種合計 DI



業況判断 DI (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-10.7 (前期は-12.2) と前期に比べ 1.5 ポイント改善した。業種別に見ると、建設業で好調感が強まり、不動産業でわずかに好転し、小売業・サービス業で水面下ながら若干持ち直した。

来期は、建設業で好調感が強まり、製造業・卸売業・サービス業で水面下ながら改善すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-11.1	-10.0	1.1	-6.5	3.5
卸売業	-11.2	-9.8	1.4	-7.6	2.2
小売業	-26.7	-25.3	1.4	-23.9	1.4
サービス業	-13.5	-12.2	1.3	-8.7	3.5
建設業	6.6	8.9	2.3	13.5	4.6
不動産業	-0.7	1.3	2.0	0.0	-1.3
総合	-12.2	-10.7	1.5	-7.8	2.9

※前期 (平成27年7～9月) 来期 (平成28年1～3月)

＜製造業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・受注残・収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格は多少落着きを見せた。業種別に見ると、「輸送用機械」「化学工業」は前期並の良好感が続いた。「精密機械」は大きくプラスに転じ、「電気機械」はかなり明るさが見えた。「プラスチック」「食料品」は幾分持ち直した。「繊維・衣服」「皮革関連」はかなり厳しさが和らいだ。「一般機械」「印刷関連」は前期同様の厳しさが続き、「プレス・メッキ」「金属製品」「木材・家具」「ゴム製品」「紙・紙加工品」はやや低調感を強めた。「建設用金属」は大幅に業況感が落込んだ。

来期の業況は、水面下ながら改善するとみている。売上額・受注残・収益は回復の兆しが見えると予想している。

＜卸売業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は、ともに前期並の低迷が続いた。価格面では、販売価格は前期並の高い水準が続き、仕入価格はやや落着きを見せた。業種別では、「機械器具」はかなり良好感が強まり、「化学製品」は大きくプラスに転じた。水面下ながら、「建築材料」「鉱物・金属材料」は大幅に厳しさが和らぎ、「繊維・衣服」は多少持ち直した。一方、「食料品・飲食物品」は幾分厳しさを増した。

来期の業況は、水面下ながら上向くとみている。売上額・収益は減少が一服すると予想している。

＜小売業＞

業況はわずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益は若干改善した。価格面では、販売価格はわずかに上昇に転じ、仕入価格は前期並の上昇が続いた。業種別では、「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「飲食物品」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」は若干低迷し、「スポーツ用品・玩具」「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」はかなり深刻さを増した。

来期の業況は、今期同様の厳しさが続く予想している。売上額・収益は引き続き改善するとみている。

＜サービス業＞

業況は水面下ながらやや上向いた。売上額・収益は前期並の減少が続いた。価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格はやや落着きを見せた。業種別に見ると、「自動車整備・駐車場」「洗濯・理容・美容」は水面下ながら多少改善し、「情報サービス・調査・広告」は大きく悪化に転じた。

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・収益はともに改善するとみている。

＜建設業＞

業況はやや好調感が強まった。売上額は前期同様の増加が続き、受注残・施工高は若干強含み、収益は前期同様の水準で推移した。価格面では、請負価格はわずかに上昇幅が拡大し、材料価格は前期並の上昇が続いた。業種別に見ると、「総合工事」「設備工事」は幾分上向き、「職別工事」は前期並の良好感が続いた。

来期の業況はさらに好調感が強まる予想している。売上額・収益は堅調に推移し、受注残・施工高は今期同様の増加が続くとみている。

＜不動産業＞

業況はわずかにプラスに転じた。売上額は大きく水面下を脱し、収益は幾分良化した。価格面では、販売価格はかなり上昇し、仕入価格は前期並の高い水準が続いた。業種別に見ると、「建売・土地売買」は前期並の良好感が続き、「不動産代理・仲介」は前期同様変化なく推移した。来期の業況は、今期同様変化がないものとみている。売上額は今期同様の増加が続き、収益は増加基調が一服すると予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

【注】

○D. I (Diffusion Index の略)

D. I (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いのかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○ (季節済) D. I

季節済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返す D. I を過去 5 年間で遡って季節的な変動を除去して加工した D. I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。東京都産業労働局「中小企業の景況調査」より

荒川区の今期の特徴点

製造業

売上額は多少持ち直し、収益もかなり改善した。業況は前期同様変化なく推移した。販売価格はわずかに下降し、原材料価格は上昇がかなり弱まった。

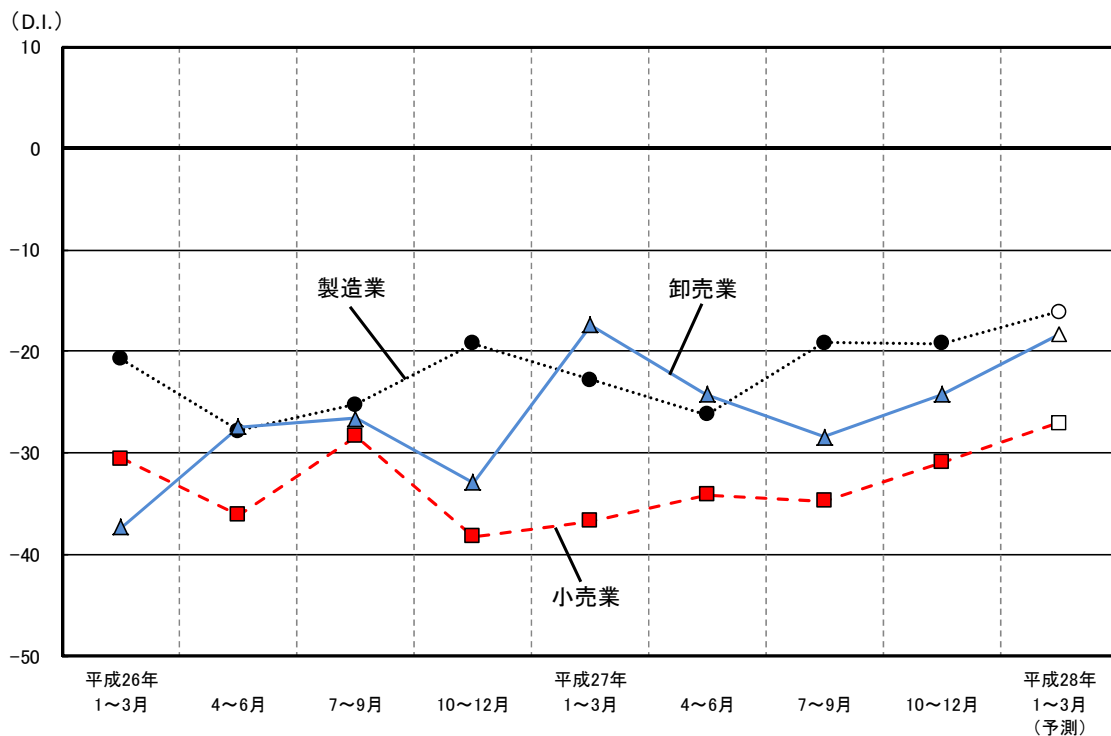
卸売業

売上額と収益はともに大きく減少したが、業況はわずかに持ち直した。販売価格はやや下降し、仕入価格は上昇が大きく弱まった。

小売業

売上額は多少持ち直し、収益もわずかに改善したため、業況もわずかに持ち直した。販売価格はやや増加しプラスマイナス〇となり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製 造 業

業 況

業況（-26→-19→-19）は前期同様変化なく推移した。業種別で見ると、「なめし革・同製品・毛皮」（-25→-26→-2）は水面下ながら極端に持ち直し、「金属製品、建設用金属製品」（-54→-50→-40）もかなり持ち直し、「繊維工業、衣服・その他繊維製品」（-23→-23→-18）もわずかに持ち直した。「木材・木製品、家具・装備品」（-25→-5→-4）は前期同様に推移した。一方、「出版、印刷、製版、製本業」（-29→-13→-22）と「一般、電気、輸送用、精密機械器具」（8→33→22）はかなり厳しさが増した。

売 上 額 ・ 収 益

売上額（-23→-21→-16）は前期から5ポイント増とやや持ち直し、収益（-24→-25→-17）も前期から8ポイント増とかなり改善した。

受注残（-19→-16→-10）は前期から6ポイント増と大幅に改善した。

価 格 ・ 在庫動向

販売価格（-5→-1→-3）は前期から2ポイント減とわずかに下降し、原材料価格（23→27→18）は前期から9ポイント減と上昇がかなり弱まった。

在庫（3→5→3）は前期から2ポイント減と大きな変動がなく推移した。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（-19→-19→-17）は前期から2ポイント増とわずかに改善し、借入難易度（-12→-10→-12）は前期から2ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。また、設備投資を「実施した」企業（12%→12%→13%）は前期から1ポイント増となった。

経営上の問題点・重点経営施策

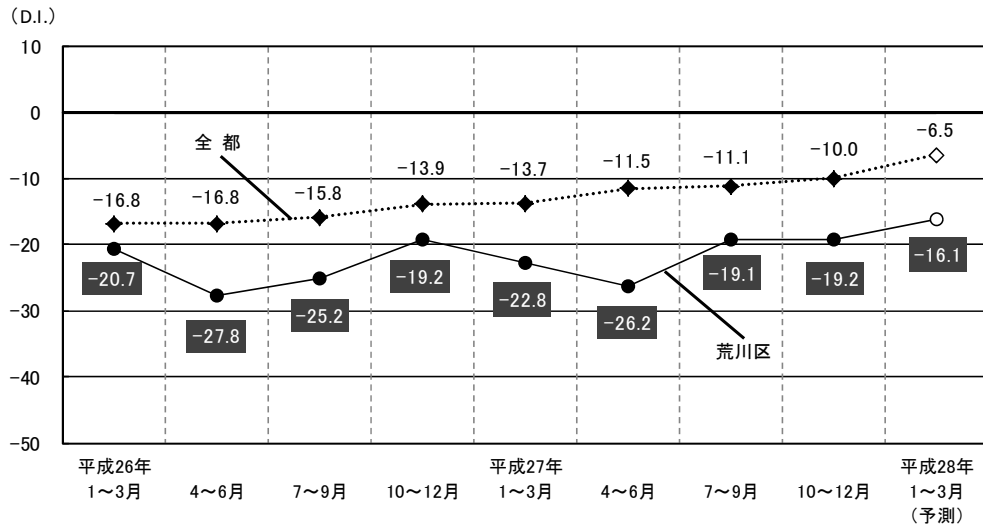
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（48%）が今期も最多で、以下、「利幅の縮小」（35%）、「同業者間の競争の激化」（24%）、「原材料高」（14%）、「人手不足」「人件費の増加」（ともに8%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（70%）が今期も最多で、以下、「経費を節減する」（56%）、「情報力を強化する」と「新製品・技術を開発する」（ともに14%）、「提携先を見つける」「人材を確保する」（ともに10%）の順であった。

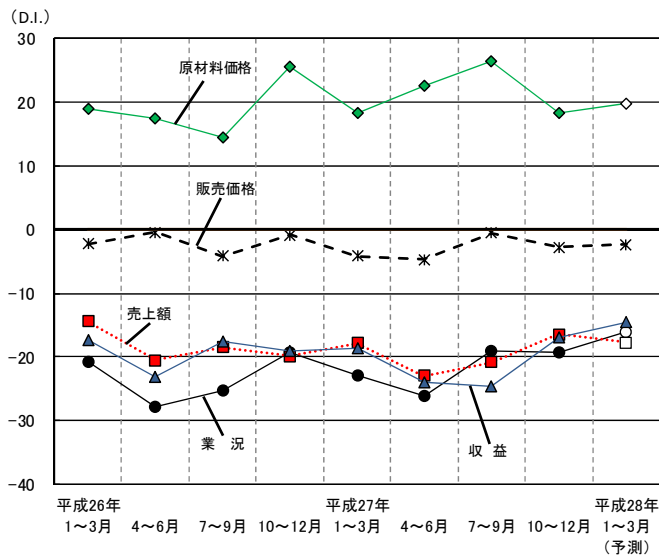
来 期 の 見 通 し

来期は、売上額（-18 予想）は今期同様の水準で推移するものの、収益（-15 予想）はわずかに改善すると見込まれており、業況（-16 予想）も幾分持ち直すと予想されている。販売価格（-2 予想）は今期同様横這いで推移し、原材料価格（20 予想）は上昇が幾分弱まると見込まれている。

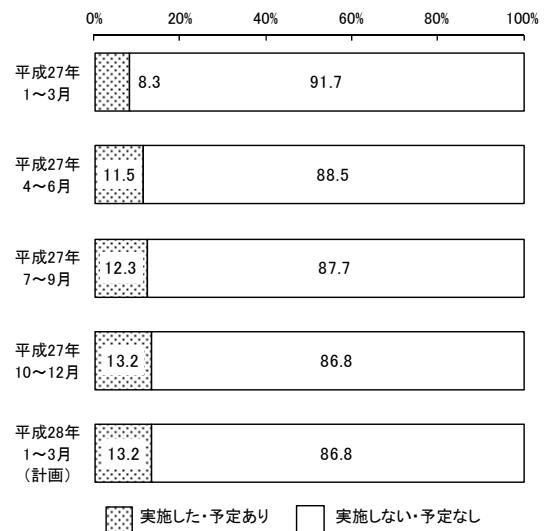
荒川区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向



経営上の問題点

	27年1～3月期		27年4～6月期		27年7～9月期		27年10～12月期	
第1位	売上の停滞・減少	50%	売上の停滞・減少	57%	売上の停滞・減少	46%	売上の停滞・減少	48%
第2位	同業者間の競争の激化	23%	同業者間の競争の激化	26%	同業者間の競争の激化	27%	利幅の縮小	35%
第3位	利幅の縮小	15%	原材料高	24%	利幅の縮小	22%	同業者間の競争の激化	24%
第4位	原材料高		利幅の縮小	21%	原材料高	22%	原材料高	14%
第5位	大手企業との競争の激化 仕入先からの値上げ要請	7%	大手企業との競争の激化	10%	仕入先からの値上げ要請	11%	人手不足 人件費の増加	8%

重点経営施策

	27年1～3月期		27年4～6月期		27年7～9月期		27年10～12月期	
第1位	販路を広げる	62%	販路を広げる	66%	販路を広げる	67%	販路を広げる	70%
第2位	経費を節減する	47%	経費を節減する	46%	経費を節減する	46%	経費を節減する	56%
第3位	新製品・技術を開発する	15%	情報力を強化する	15%	新製品・技術を開発する	17%	情報力を強化する	14%
第4位	情報力を強化する	11%	新製品・技術を開発する	14%	情報力を強化する	11%	新製品・技術を開発する	
第5位	人材を確保する	8%	人材を確保する	9%	提携先を見つける	10%	提携先を見つける 人材を確保する	10%

業種別動向

なめし革・同製品・毛皮

売上額（-37→-26→-48）は前期から22ポイント減と極端に減少したが、収益（-31→-61→-40）は前期から21ポイント増と極端に改善したため、業況（-25→-26→-2）も水面下ながら極端に持ち直した。販売価格（27→-4→23）は前期から27ポイント増と極端に上昇に転じ、原材料価格（-26→42→37）は前期から5ポイント減と上昇がやや弱まった。

来期は、売上額（-37予想）は大きく持ち直し、収益（-35予想）も多少改善すると見込まれているが、業況（-40予想）は極端に悪化すると予想されている。販売価格（-3予想）は極端に下降し水面下に落込み、原材料価格（13予想）も上昇が大幅に弱まると見込まれている。

一般、電気、輸送用、精密機械器具

業況（8→33→22）は好調を維持しているものの、前期から11ポイント減と増勢が大きく後退した。売上額（3→24→4）は前期から20ポイント減と増加幅が大幅に縮小し、収益（-4→14→-1）も前期から15ポイント減と増加傾向が一服した。販売価格（10→22→13）は前期から9ポイント減と大幅に下降し、原材料価格（24→46→35）も前期から11ポイント減と上昇が大きく弱まった。

来期は、売上額（3予想）は今期並の水準が続き、収益（14予想）は大幅に改善され増加に転じると予想されている。業況（21予想）は今期同様の水準で推移すると見込まれている。販売価格（17予想）はわずかに上昇し、原材料価格（41予想）もかなり上昇すると見込まれている。

金属製品、建設用金属製品

売上額（-59→-44→-47）は前期から3ポイント減とわずかに減少したが、収益（-57→-40→-33）は前期から7ポイント増とかなり改善したため、業況（-54→-50→-40）も前期から10ポイント増と水面下ながら大きく持ち直した。販売価格（-34→-14→-18）は前期から4ポイント減とわずかに下降し、原材料価格（35→32→23）は前期から9ポイント減と上昇が大きく弱まった。

来期は、売上額（-40予想）と収益（-27予想）はかなり改善されると予想されており、業況（-34予想）も水面下ながら大きく持ち直すと予想されている。販売価格（-20予想）はやや下降するが、原材料価格（27予想）は幾分上昇すると見込まれている。

出版、印刷、製版、製本業

売上額（-26→-15→-20）は前期から5ポイント減とかなり減少したが、収益（-32→-29→-29）は前期同様の水準で推移した。業況（-29→-13→-22）は前期から9ポイント減とかなり下降した。販売価格（-11→-4→-4）は前期同様ほぼ横這いで推移し、原材料価格（20→20→14）は前期から6ポイント減と上昇がかなり弱まった。

来期は、売上額（-20予想）は今期並の水準で推移するが、収益（-18予想）は大幅に改善されると予想されている。業況（-24予想）は幾分下降すると見込まれている。販売価格（-2予想）は今期並の水準で推移するが、原材料価格（21予想）はかなり上昇すると見込まれている。

木材・木製品、家具・装備品

売上額（2→-28→-6）は前期から22ポイント増と極端に持ち直すが、収益（3→-17→-19）は前期から2ポイント減とわずかに下降した。業況（-25→-5→-4）は前期から1ポイント増とほぼ横這いで推移した。販売価格（-19→8→-11）は前期から19ポイント減と大幅に上昇から下降へと転じ、原材料価格（10→30→10）は前期から20ポイント減と極端に上昇が弱まった。

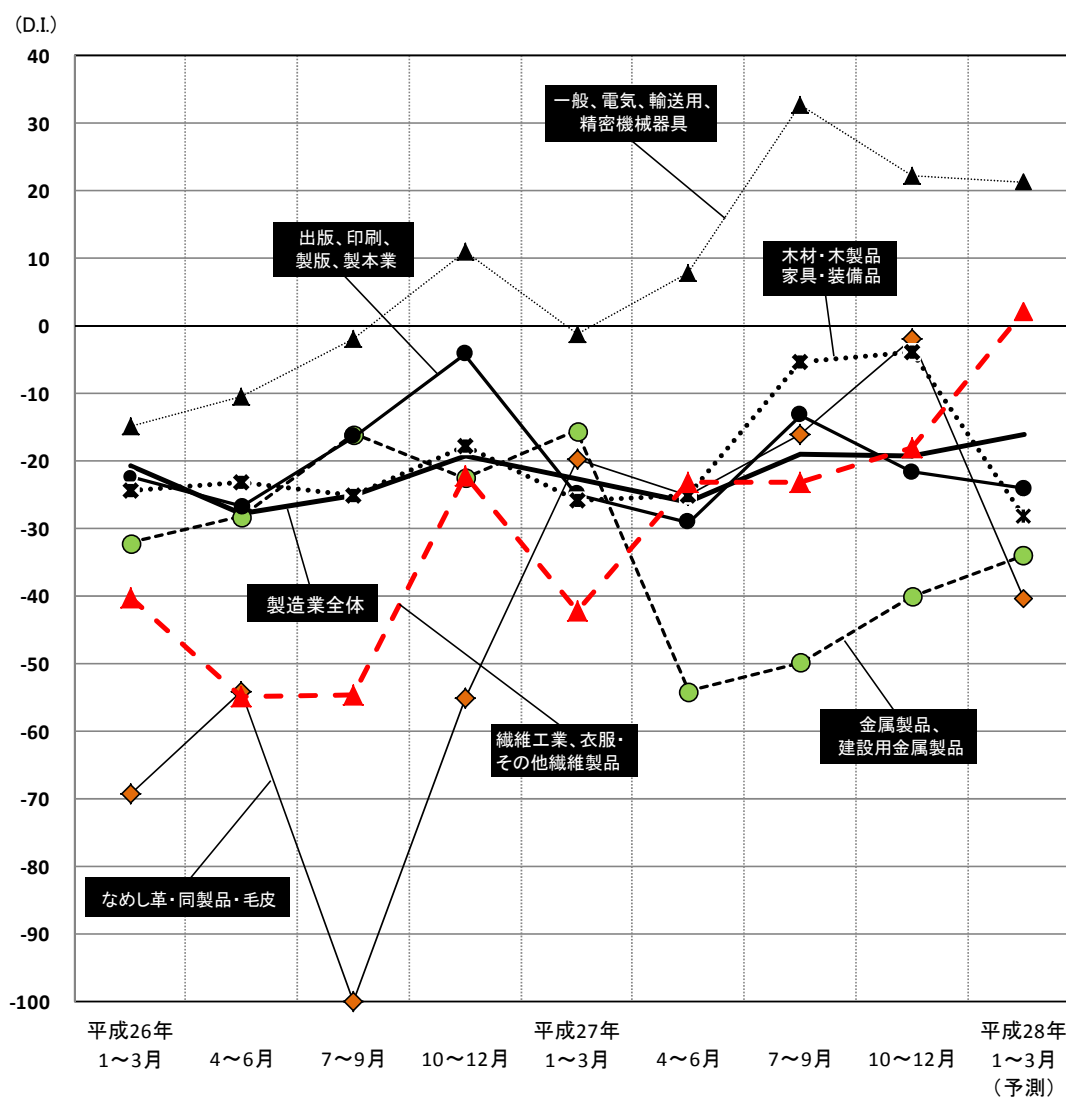
来期は、売上額（-26予想）と収益（-28予想）は大幅に減少すると予想されているため、業況（-28予想）も極端に下降すると見込まれている。販売価格（-9予想）と原材料価格（10予想）はほぼ今期並の水準で推移すると見込まれている。

繊維工業、衣服・その他繊維製品

売上額（-16→-39→-25）は前期から14ポイント増と大きく持ち直し、収益（-36→-51→-13）も前期から38ポイント増と極端に改善したため、業況（-23→-23→-18）も前期から5ポイント増とわずかに上向いた。販売価格（-16→-3→4）は前期から7ポイント増と大きく上昇に転じ、原材料価格（2→27→31）は前期から4ポイント増とやや上昇を強めた。

来期は、売上額（1予想）と収益（10予想）は極端に上昇し水面下を脱すると見込まれており、業況（2予想）も極端に改善しプラスに転じると予想されている。販売価格（4予想）は今期同様横這いで推移し、原材料価格（21予想）は上昇がかなり弱まると見込まれている。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



卸 売 業

業 況

業況（-24→-28→-24）は前期から4ポイント増とわずかに持ち直した。

売 上 額 ・ 収 益

売上額（-17→-19→-26）と収益（-17→-14→-21）は前期からともに7ポイント減と大きく減少した。

価 格 ・ 在庫動向

販売価格（-12→-1→-6）は前期から5ポイント減とやや下降し、仕入価格（4→25→15）は前期から10ポイント減と大きく上昇が弱まった。

在庫（7→8→2）は前期から6ポイント減と適正範囲に保たれた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（-24→-19→-27）は前期から8ポイント減と厳しさが大きく増し、借入難易度（0→-19→-20）は前期から1ポイント減と前期並の厳しさが続いた。設備投資を「実施した」企業（7%→12%→10%）は前期から2ポイント減とわずかに減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

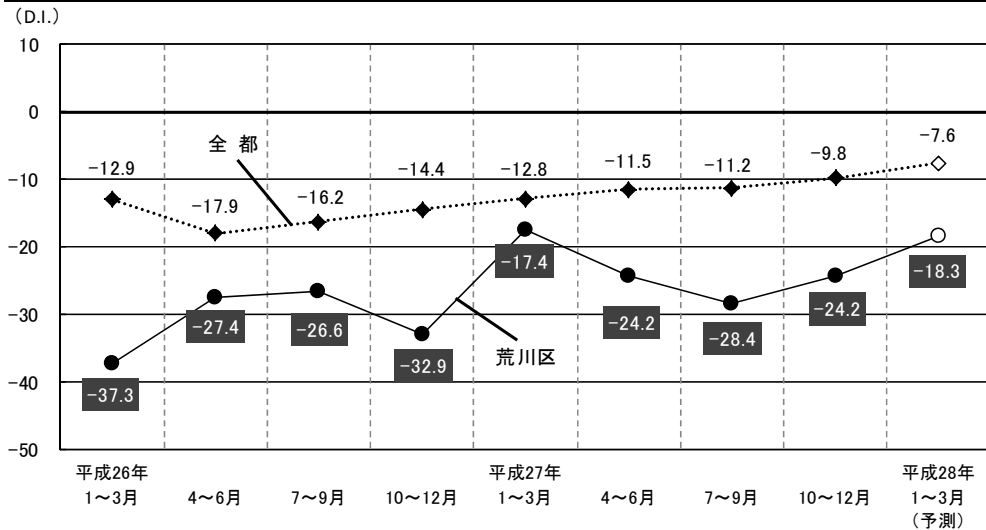
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（59%）が今期も最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」（53%）、「利幅の縮小」（33%）、「取引先の減少」（12%）、「為替レートの変動」（10%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（82%）が今期も最多で、以下、「経費を節減する」（55%）、「品揃えを充実する」（27%）、「情報力を強化する」（18%）、「提携先を見つける」（12%）の順であった。

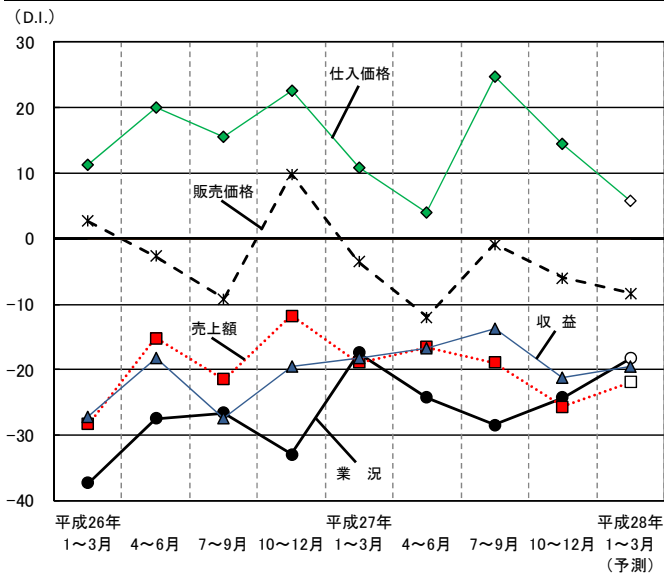
来 期 の 見 通 し

来期は、売上額（-22予想）はやや改善し、収益（-20予想）は今期並の水準が続くと予想されており、業況（-18予想）は水面下ながらかなり持ち直すと見込まれている。販売価格（-8予想）はわずかに下降を強め、仕入価格（6予想）は大きく上昇が弱まると見込まれている。

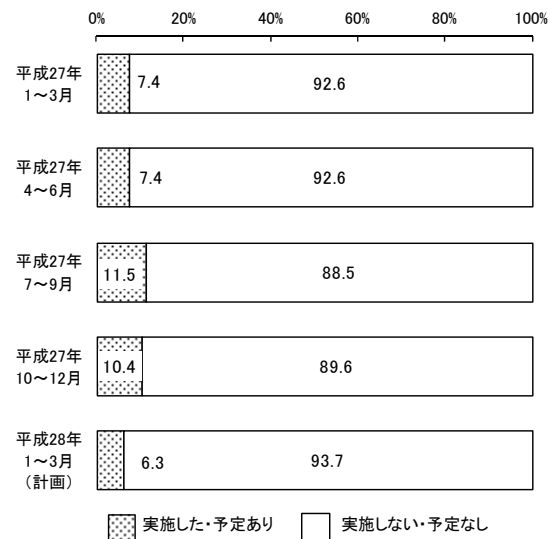
荒川区と全都の卸売業・業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向



経営上の問題点

	27年1～3月期	27年4～6月期	27年7～9月期	27年10～12月期
第1位	同業者間の競争の激化 58%	売上の停滞・減少 56%	売上の停滞・減少 63%	売上の停滞・減少 59%
第2位	売上の停滞・減少 47%	同業者間の競争の激化 54%	同業者間の競争の激化 52%	同業者間の競争の激化 53%
第3位	利幅の縮小 26%	利幅の縮小 17%	利幅の縮小 30%	利幅の縮小 33%
第4位	輸入品との競争の激化 16%	為替レートの変動 11%	取引先の減少 11%	取引先の減少 12%
第5位	流通経路の変化による競争の激化 11%	輸入品との競争の激化 9%	仕入先からの値上げ要請 9%	為替レートの変動 10%

重点経営施策

	27年1～3月期	27年4～6月期	27年7～9月期	27年10～12月期
第1位	販路を広げる 71%	販路を広げる 61%	販路を広げる 76%	販路を広げる 82%
第2位	経費を節減する 58%	経費を節減する 48%	経費を節減する 57%	経費を節減する 55%
第3位	品揃えを充実する 29%	品揃えを充実する 26%	品揃えを充実する 26%	品揃えを充実する 27%
第4位	情報力を強化する 15%	情報力を強化する 20%	情報力を強化する 15%	情報力を強化する 18%
第5位	流通経路の見直しをする 11%	提携先を見つける 6%	人材を確保する 11%	提携先を見つける 12%

小 売 業

業 況

業況(-34→-35→-31)は、前期から4ポイント増とわずかに持ち直した。業種別で見ると、「衣服、呉服、身の回り品」(-50→-54→-37)は前期から17ポイント増、「飲食料品」(-42→-49→-36)は前期から13ポイント増と、ともに水面下ながら大きく持ち直したが、「家具・建具・じゅう器」(-30→10→-46)は前期から56ポイント減と極端に厳しさを強めマイナスに転じた。

売 上 額 ・ 収 益

売上額(-24→-30→-25)は前期から5ポイント増と多少持ち直し、収益(-29→-33→-29)も前期から4ポイント増とわずかに改善した。

価 格 ・ 在庫動向

販売価格(-6→-5→0)は前期から5ポイント増加しプラスマイナス0となり、仕入価格(12→15→8)は前期から7ポイント減と上昇が大きく弱まった。

在庫(-1→-4→-2)は前期から2ポイント増となり適正範囲に保たれた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り(-19→-26→-19)は前期から7ポイント増と厳しさが大きく和らいだが、借入難易度(-5→-13→-15)は前期から2ポイント減と前期並の厳しさが続いた。設備投資を「実施した」企業(2%→5%→4%)は前期から1ポイント減とわずかに減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

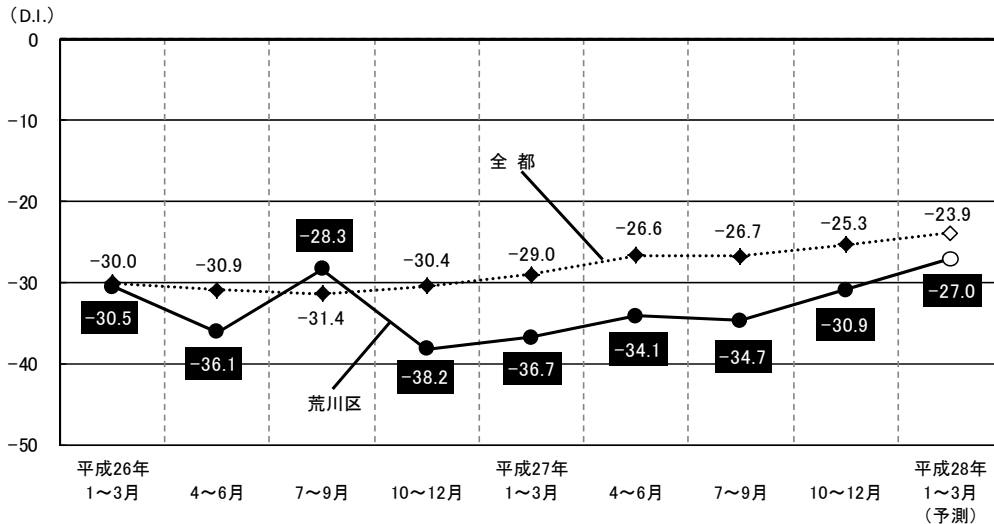
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(46%)が今期も最多で、以下、「同業者間の競争の激化」(45%)、「大型店との競争の激化」(36%)、「商店街の集客力の低下」(20%)、「利幅の縮小」(11%)の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」(50%)が今期も最多となり、以下、「品揃えを改善する」(35%)、「宣伝・広報を強化する」(25%)、「商店街事業を活性化させる」(24%)、「売れ筋商品を取り扱う」(14%)の順であった。

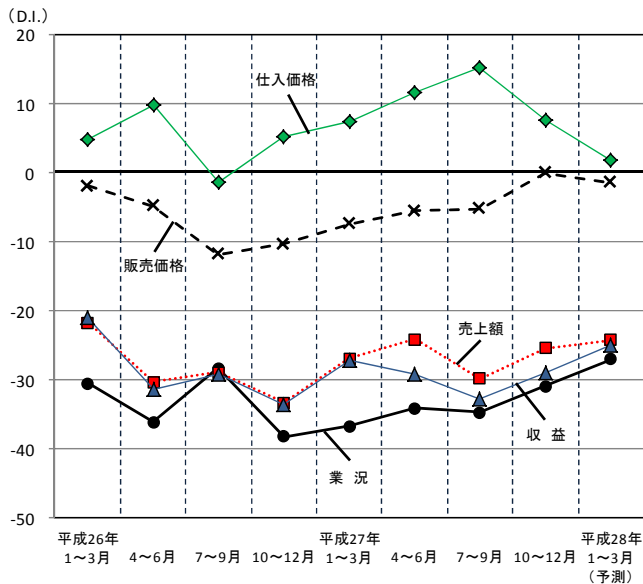
来 期 の 見 通 し

来期は、売上額(-24予想)は今期同様の水準で推移し、収益(-25予想)はわずかに改善されると見込まれており、業況(-27予想)もやや持ち直すと見込まれている。価格面では、販売価格(-2予想)はほぼ横這いで推移し、仕入価格(2予想)は上昇がかなり弱まり落着きを見せると見込まれている。

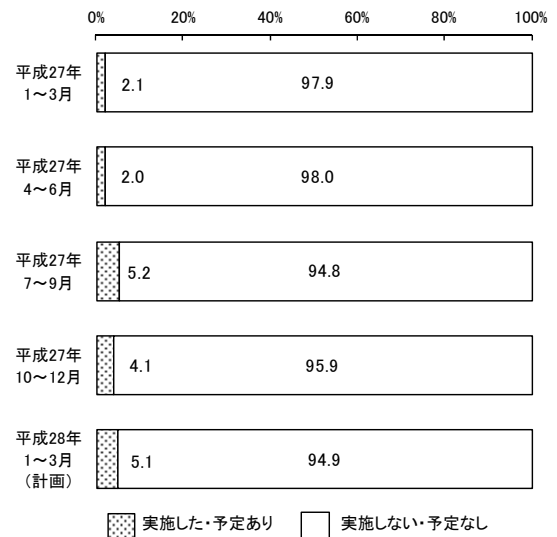
荒川区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向



経営上の問題点

	27年1~3月期		27年4~6月期		27年7~9月期		27年10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	46%	売上の停滞・減少	48%	売上の停滞・減少	48%	売上の停滞・減少	46%
第2位	同業者間の競争の激化	37%	大型店との競争の激化	32%	大型店との競争の激化	36%	同業者間の競争の激化	45%
第3位	大型店との競争の激化	29%	同業者間の競争の激化	29%	同業者間の競争の激化	34%	大型店との競争の激化	36%
第4位	商店街の集客力の低下	28%	商店街の集客力の低下	25%	商店街の集客力の低下	25%	商店街の集客力の低下	20%
第5位	商圈人口の減少	13%	利幅の縮小	20%	利幅の縮小	17%	利幅の縮小	11%

重点経営施策

	27年1~3月期		27年4~6月期		27年7~9月期		27年10~12月期	
第1位	品揃えを改善する	37%	経費を節減する	39%	経費を節減する	50%	経費を節減する	50%
第2位	経費を節減する		品揃えを改善する	33%	品揃えを改善する	36%	品揃えを改善する	35%
第3位	売れ筋商品を取り扱う	27%	売れ筋商品を取り扱う	25%	宣伝・広報を強化する 商店街事業を活性化させる	25%	宣伝・広報を強化する	25%
第4位	宣伝・広報を強化する	22%	商店街事業を活性化させる	24%			商店街事業を活性化させる	24%
第5位	商店街事業を活性化させる		宣伝・広報を強化する	15%	売れ筋商品を取り扱う	21%	売れ筋商品を取り扱う	14%

業種別動向

家具・建具・じゅう器

売上額（-1→12→-47）は前期から59ポイント減、収益（-14→19→-47）も前期から66ポイント減と、ともに増加から減少に極端に転じたため、業況（-30→10→-46）も前期から56ポイント減と増加から減少に極端に転じた。販売価格（-37→10→-5）は前期から15ポイント減と上昇から下降に大きく転じ、仕入価格（-4→14→-33）も前期から47ポイント減と上昇から下降に極端に転じた。

来期は、売上額（-14予想）と、収益（-7予想）がともに極端に改善されると予想されているため、業況（-19予想）も水面下ながら極端に持ち直すと見込まれている。一方、販売価格（-4予想）は今期同様の水準で推移し、仕入価格（-38予想）はさらに下降すると見込まれている。

飲食料品

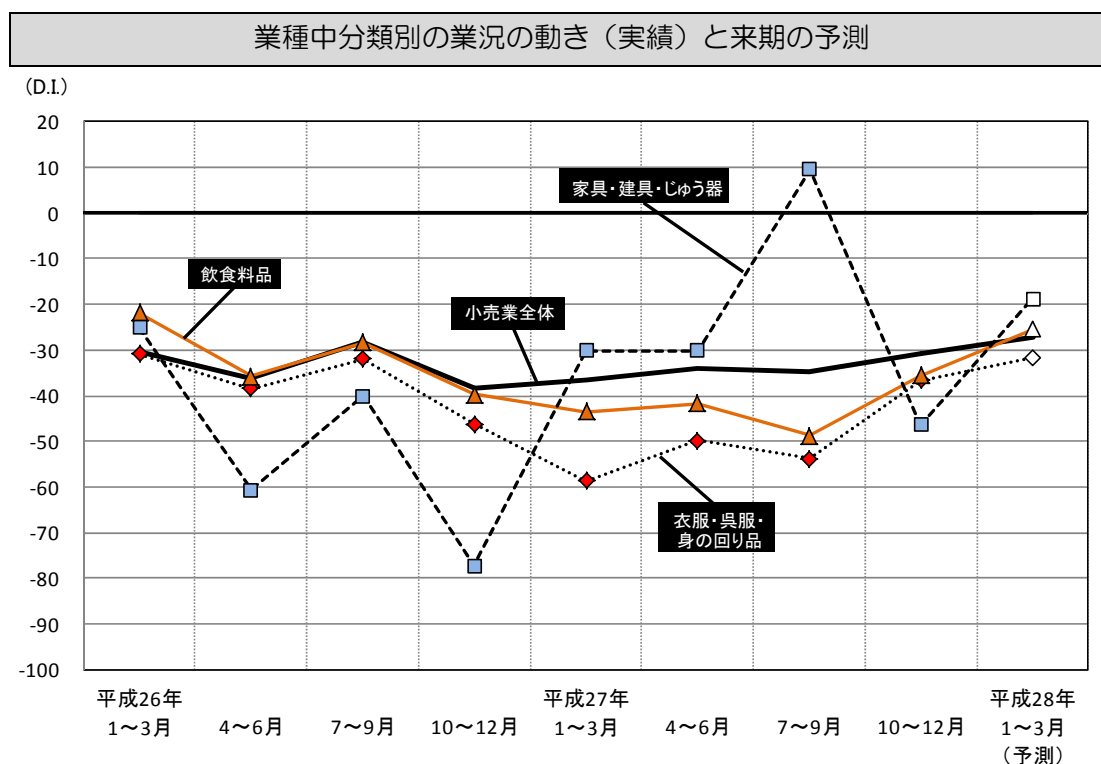
売上額（-32→-48→-30）は前期から18ポイント増、収益（-34→-48→-36）も前期から12ポイント増で、ともに大きく改善したため、業況（-42→-49→-36）も前期から13ポイント増と水面下ながら大きく持ち直した。販売価格（-3→-7→1）は前期から8ポイント増と大きく上昇に転じ、仕入価格（18→20→12）は前期から8ポイント減と上昇が大きく弱まった。

来期は、売上額（-23予想）と収益（-24予想）は、ともに大きく改善すると予想されているため、業況（-25予想）も今期同様水面下ながら大きく持ち直すと見込まれている。また、販売価格（-1予想）はほぼ横這いで推移し、仕入価格（5予想）は上昇がかなり弱まると予想されている。

衣服、呉服、身の回り品

売上額（-49→-43→-49）は前期から6ポイント減とかなり下降し、収益（-35→-39→-39）は増減0ポイントで前期並の水準で推移したが、業況（-50→-54→-37）は前期から17ポイント増と水面下ながら大きく改善した。また、販売価格（-14→-12→-4）は前期から8ポイント増と大幅に持ち直し、仕入価格（-9→1→-2）は前期から3ポイント減と下降に転じた。

来期は、売上額（-46予想）と収益（-36予想）はともにわずかに改善すると予想されており、業況（-32予想）も厳しさが幾分和らぐと見込まれている。また、販売価格（-8予想）はわずかに下降し、仕入価格（-10予想）は大幅に下降すると見込まれている。



日銀短観

[調査対象企業数]

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	4,462社	6,509社	10,971社	99.6%
うち大企業	1,091社	1,043社	2,134社	99.6%
中堅企業	1,181社	1,877社	3,058社	99.4%
中小企業	2,190社	3,589社	5,779社	99.6%
金融機関	—	—	197社	98.5%

< 回答期間 > 11月11日 ~ 12月11日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (大企業・製造業)

(円/ドル)

	2014年度			2015年度		
	上期	下期		上期	下期	
2015年6月調査	108.96	103.17	114.29	115.62	115.59	115.65
2015年9月調査	—	—	—	117.39	117.50	117.28
2015年12月調査	—	—	—	119.40	120.84	118.00

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2015年9月調査		2015年12月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	12	10	12	0	7	-5
非製造業	25	19	25	0	18	-7
全産業	19	14	18	-1	13	-5
中堅企業						
製造業	5	4	5	0	0	-5
非製造業	17	13	19	2	12	-7
全産業	12	9	14	2	8	-6
中小企業						
製造業	0	-2	0	0	-4	-4
非製造業	3	1	5	2	0	-5
全産業	3	0	3	0	-2	-5
全規模合計						
製造業	5	2	4	-1	1	-3
非製造業	10	7	13	3	7	-6
全産業	8	5	9	1	3	-6

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2014年度		2015年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	1.3	—	-0.3	-1.1
	国内	-0.6	—	-1.8	-1.7
	輸出	5.9	—	3.4	0.2
	非製造業	0.5	—	-1.6	-1.7
中堅企業	製造業	1.9	—	1.6	0.0
	国内	0.2	—	0.8	-0.3
	輸出	0.6	—	1.0	-0.2
	非製造業	1.2	—	0.1	-0.3
中小企業	製造業	0.0	—	-0.5	0.0
	国内	0.2	—	-0.4	0.0
	輸出	—	—	—	—
	非製造業	1.4	—	0.1	-0.8
全規模合計	製造業	0.3	—	-0.7	-0.9
	国内	0.6	—	-0.5	-0.8
	輸出	—	—	—	—
	非製造業	—	—	—	—

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2015年9月調査		2015年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製造品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-23	-24	-24	-1	-26	-2
	うち素材業種	-30	-30	-31	-1	-31	0
	加工業種	-17	-20	-20	-3	-21	-1
	非製造業	-19	-20	-19	0	-20	-1
海外での製造品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-14	-16	-17	-3	-16	1
	うち素材業種	-21	-23	-24	-3	-24	0
	加工業種	-10	-12	-12	-2	-12	0
	非製造業	—	—	—	—	—	—
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	14	—	14	0	—	—
	うち素材業種	18	—	17	-1	—	—
	加工業種	11	—	12	1	—	—
	非製造業	—	—	—	—	—	—
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	20	—	20	0	—	—
	うち素材業種	26	—	28	2	—	—
	加工業種	14	—	14	0	—	—
	非製造業	—	—	—	—	—	—
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	-6	-9	-9	-3	-11	-2
	うち素材業種	-4	-5	-8	-4	-9	-1
	加工業種	-9	-12	-10	-1	-13	-3
	非製造業	-5	-2	-5	0	-3	2
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	22	24	14	-8	19	5
	うち素材業種	17	19	9	-8	15	6
	加工業種	26	27	18	-8	20	2
	非製造業	18	25	16	-2	21	5

東京都の企業倒産動向 (平成 27 年 10~12 月期)

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件数・億円)

	平成26年 10~12月	平成27年 7~9月	平成27年 10~12月	前期比	前年同期比
件数	414	434	501	15.4%	21.0%
負債総額	1,524	2,448	3,857	57.6%	153.1%

2. 原因別倒産動向

(単位: 平成27年10~12月期の件数・%)

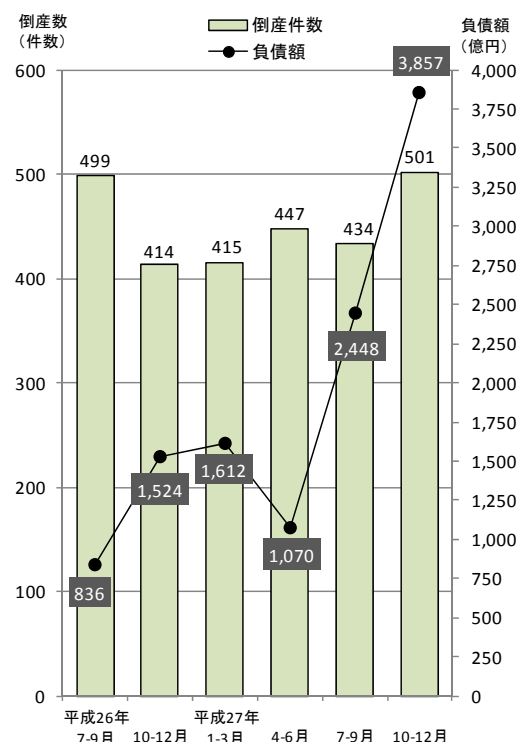
放漫経営過小資本	20	4.0%	9	1.8%	70	14.0%	47	9.4%	339	67.7%
他社倒産の余波										
既往のしわよせ										
販売不振										
信用性低下										
在庫状態悪化										
設備投資過大										
その他	2	0.4%	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	11	2.2%

3. 業種・規模別倒産動向

(単位: 件数・億円)

	件数			金額		
	前年同期	前期	当期	前年同期	前期	当期
製造業	50	50	51	91	94	84
卸売業	82	83	102	140	280	169
小売業	25	41	59	34	29	40
サービス業	91	71	76	214	52	225
建設業	53	50	58	78	52	55
不動産業	15	17	18	523	83	44
情報通信業・運輸業	54	82	99	205	1824	1475
飲食店・宿泊業	27	28	20	14	8	15
その他	17	12	18	222	22	1745
合計	414	434	501	1524	2448	3857

※金額の億円未満は切り捨て表示のため、合計と一致しない



中小企業景況調査 比較表(荒川区・全都)

(平成27年10～12月期)

製造業

[今期の景況]

		全体		なめし革・同製品・毛皮		一般、電気、輸送用、精密機械		金属製品、建設用金属製品		出版、印刷、製版、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維	
		荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都
業況		-19	-10	-2	-26	22	3	-40	-13	-22	-26	-4	-16	-18	-11
売上額		-16	-6	-48	-19	4	5	-47	-5	-20	-20	-6	-16	-25	-9
受注残		-10	-4	-37	-18	12	7	-32	-5	-15	-19	1	-15	-17	-11
収益		-17	-10	-40	-22	-1	1	-33	-7	-29	-25	-19	-17	-13	-18
販売価格		-3	-3	23	8	13	0	-18	-4	-4	-10	-11	-8	4	0
原材料価格		18	17	37	19	35	18	23	15	14	11	10	9	31	21
原材料在庫		3	1	-2	3	5	1	6	0	3	1	-9	-6	20	7
資金繰り		-17	-14	-43	-34	2	-10	-15	-15	-16	-18	-18	-17	-26	-16
雇用	残業時間	3	2	33	0	8	6	-7	-1	4	-4	0	-4	0	-2
	人手	-9	-8	0	-15	-8	-11	7	-7	-8	-4	-10	-3	-13	-7
同期比	売上額	-13	-3	0	-16	25	9	-33	-9	-13	-19	-10	-13	0	2
	収益	-17	-8	-33	-26	17	3	-40	-11	-29	-23	-20	-12	13	-6
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	48	44	67	50	25	38	53	46	50	55	40	38	63	51
	② 利幅の縮小	35	22	33	27	33	17	33	25	42	27	30	20	-	19
	③ 同業者間の競争の激化	24	32	-	26	17	30	13	27	29	48	30	33	50	25
	④ 原材料高	14	15	-	10	17	14	13	15	4	7	30	24	-	12
	⑤ 人件費の増加	8	5	33	5	-	6	-	4	8	5	-	5	13	5
重点経営施策	① 販路を広げる	70	64	100	66	92	60	40	62	71	73	90	59	63	63
	② 経費を節減する	56	48	33	49	50	45	53	50	67	55	50	45	75	49
	③ 新製品・技術を開発する	14	14	-	10	8	22	7	10	4	10	-	6	13	11
	④ 情報力を強化する	14	17	33	18	33	17	7	16	13	21	-	13	13	12
	⑤ 人材を確保する	10	12	33	12	8	15	20	14	4	9	20	10	-	8
借入の難易度		-12	-5	-33	-27	-13	-2	-10	-3	-17	-11	-38	-6	0	-9

[来期の景況見通し]

業況		-16	-7	-40	-19	21	6	-34	-10	-24	-20	-28	-18	2	-7
売上額		-18	-2	-37	-17	3	9	-40	-4	-20	-15	-26	-12	1	-2
受注残		-12	-1	-33	-11	23	8	-29	-3	-8	-12	-19	-13	4	-6
収益		-15	-5	-35	-15	14	3	-27	-7	-18	-16	-28	-14	10	-9
販売価格		-2	-2	-3	5	17	1	-20	-3	-2	-8	-9	-9	4	-2
原材料価格		20	15	13	19	41	17	27	15	21	9	10	7	21	15
原材料在庫		6	1	3	2	9	0	1	1	8	1	-6	-6	23	4
資金繰り		-16	-11	-39	-30	-2	-6	-20	-13	-13	-15	-15	-16	-26	-14
雇用	残業時間	-3	1	0	-3	0	5	0	-2	4	-1	0	-1	0	-2
	人手	-10	-8	0	-14	-8	-10	0	-8	-8	-3	-20	-4	-13	-7

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

卸売業

【今期の景況】

		全体	
		荒川区	全都
業 況		-24	-10
売上額		-26	-6
収 益		-21	-8
販売価格		-6	6
仕入価格		15	21
在 庫		2	5
資金繰り		-27	-12
雇用	残業時間	-2	1
	人 手	-10	-10
同期比	売上額	-18	-1
	収 益	-21	-5
	販売価格	-2	6
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	59	44
	② 同業者間の競争の激化	53	41
	③ 利幅の縮小	33	25
	④ 取引先の減少	12	10
	⑤ 為替レートの変動	10	8
重点経営施策	① 販路を広げる	82	69
	② 経費を節減する	55	46
	③ 品揃えを充実する	27	20
	④ 情報力を強化する	18	21
	⑤ 提携先を見つける	12	10
借入の難易度		-20	-3

【来期の景況見通し】

業 況		-18	-8
売上額		-22	-1
受注残		-20	-4
収 益		-8	5
販売価格		6	18
原材料価格		0	3
原材料在庫		-26	-12
資金繰り			
雇用	残業時間	0	1
	人 手	-12	-11

- * 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り
 * 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
 * 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期の景況】

		全体		家具・建具・じゅう器		飲食料品		衣服、呉服、身の回り品	
		荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都	荒川区	全都
業 況		-31	-25	-46	-45	-36	-24	-37	-34
売上額		-25	-19	-47	-40	-30	-19	-49	-29
収 益		-29	-21	-47	-42	-36	-22	-39	-28
販売価格		0	2	-5	3	1	6	-4	-4
仕入価格		8	14	-33	11	12	18	-2	8
在 庫		-2	3	-33	2	-1	1	-8	6
資金繰り		-19	-20	-18	-25	-18	-21	-32	-26
雇用	残業時間	1	0	0	4	2	1	0	1
	人 手	-1	-6	-33	-6	-4	-8	0	-3
同期比	売上額	-28	-19	0	-30	-31	-18	-50	-30
	収 益	-27	-22	0	-36	-31	-21	-44	-30
	販売価格	-3	2	-33	0	2	7	-13	-2
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	46	47	33	45	42	45	63	57
	② 同業者間の競争の激化	45	33	67	28	36	31	56	26
	③ 大型店との競争の激化	36	30	33	32	38	34	38	34
	④ 商店街の集客力の低下	20	19	-	9	20	19	25	25
	⑤ 利幅の縮小	11	17	-	11	11	16	6	11
重点経営施策	① 経費を節減する	50	47	67	43	44	45	50	42
	② 品揃えを改善する	35	35	33	28	40	37	38	48
	③ 宣伝・広告を強化する	25	24	33	23	22	23	13	22
	④ 商店街事業を活性化させる	24	18	-	17	24	19	31	23
	⑤ 売れ筋商品を取り扱う	14	22	-	23	20	26	19	25
借入の難易度		-15	-10	33	-11	-11	-11	-40	-13

【来期の景況見通し】

業 況		-27	-24	-19	-44	-25	-23	-32	-34
売上額		-24	-17	-14	-38	-23	-18	-46	-23
受注残		-25	-19	-7	-40	-24	-22	-36	-24
収 益		-2	2	-4	0	-1	6	-8	-3
販売価格		2	12	-38	9	5	14	-10	8
原材料価格		-5	2	-34	3	-5	-1	-12	6
原材料在庫		-17	-18	-19	-25	-17	-20	-26	-21
資金繰り									
雇用	残業時間	0	-1	0	2	0	-1	0	0
	人 手	-1	-6	-33	-7	-4	-8	0	-2

中小企業景況調査 転記表(推移)

(平成27年10～12月期)

製造業

地域名: 荒川区

中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

平成27年10月～12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		26年		26年		26年		26年		27年		27年		27年		27年		対	28年
項 目		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		前期比	1月～3月期
業況	良 い	15.3	9.0	12.5	11.0	14.1	9.6	13.4	11.9	16.5	8.2	13.4	11.4	13.4	12.2	13.6	16.8		9.8
	普 通	59.2	58.9	50.0	57.4	46.6	57.1	54.5	53.0	54.2	59.7	47.0	64.4	53.0	53.4	53.8	56.5		62.2
	悪 い	25.5	32.1	37.5	31.6	39.3	33.3	32.1	35.1	29.3	32.1	39.6	24.2	33.6	34.4	32.6	26.7		28.0
	D・I	-10.2	-23.1	-25.0	-20.6	-25.2	-23.7	-18.7	-23.2	-12.8	-23.9	-26.2	-12.8	-20.2	-22.2	-19.0	-9.9		-18.2
	修 正 値	-20.7	-19.6	-27.8	-28.9	-25.2	-25.3	-19.2	-26.8	-22.8	-21.9	-26.2	-21.9	-19.1	-21.3	-19.2	-13.5	-0.1	-16.1
	傾 向 値	-26.1		-25.2		-23.5		-20.9		-20.1		-20.6		-20.1		-19.5			
売上額	増 加	16.8	10.3	17.5	11.1	15.6	8.8	11.9	11.1	17.3	7.5	17.2	15.0	15.7	15.0	13.6	14.3		7.6
	変 ら ず	57.7	61.8	49.7	57.0	54.0	63.3	56.0	62.2	51.9	57.4	44.7	63.9	50.0	55.7	56.1	62.4		62.9
	減 少	25.5	27.9	32.8	31.9	30.4	27.9	32.1	26.7	30.8	35.1	38.1	21.1	34.3	29.3	30.3	23.3		29.5
	D・I	-8.7	-17.6	-15.3	-20.8	-14.8	-19.1	-20.2	-15.6	-13.5	-27.6	-20.9	-6.1	-18.6	-14.3	-16.7	-9.0		-21.9
	修 正 値	-14.4	-14.4	-20.5	-24.8	-18.5	-21.6	-19.9	-21.3	-17.8	-25.2	-22.9	-12.2	-20.8	-14.8	-16.4	-14.5	4.4	-17.7
	傾 向 値	-21.0		-19.5		-17.4		-15.3		-15.4		-16.7		-17.8		-17.9			
受注残	増 加	16.1	7.4	13.9	9.6	16.3	8.1	11.9	10.4	18.8	6.7	13.4	15.0	12.7	12.0	15.2	15.0		8.3
	変 ら ず	65.7	69.1	59.8	63.7	60.7	68.4	62.0	68.9	54.9	66.4	55.3	67.7	59.7	60.9	61.3	63.2		67.5
	減 少	18.2	23.5	26.3	26.7	23.0	23.5	26.1	20.7	26.3	26.9	31.3	17.3	27.6	27.1	23.5	21.8		24.2
	D・I	-2.1	-16.1	-12.4	-17.1	-6.7	-15.4	-14.2	-10.3	-7.5	-20.2	-17.9	-2.3	-14.9	-15.1	-8.3	-6.8		-15.9
	修 正 値	-9.5	-13.1	-17.1	-21.5	-9.4	-19.3	-14.6	-14.9	-13.1	-18.0	-18.9	-9.0	-15.6	-15.9	-9.7	-10.7	5.9	-11.8
	傾 向 値	-15.5		-14.1		-11.6		-9.2		-9.5		-10.9		-12.6		-12.9			
収益	増 加	16.8	5.9	13.9	9.6	17.0	8.8	12.7	12.6	15.8	8.2	14.9	11.3	12.7	12.8	12.1	15.0		9.8
	変 ら ず	56.2	70.6	53.3	60.8	52.6	63.3	54.5	62.2	54.9	59.7	47.0	69.2	51.5	57.9	58.4	56.4		62.9
	減 少	27.0	23.5	32.8	29.6	30.4	27.9	32.8	25.2	29.3	32.1	38.1	19.5	35.8	29.3	29.5	28.6		27.3
	D・I	-10.2	-17.6	-18.9	-20.0	-13.4	-19.1	-20.1	-12.6	-13.5	-23.9	-23.2	-8.2	-23.1	-16.5	-17.4	-13.6		-17.5
	修 正 値	-17.3	-15.0	-23.1	-23.9	-17.5	-23.0	-19.1	-17.8	-18.6	-22.3	-24.0	-13.6	-24.7	-17.7	-17.0	-17.8	7.7	-14.5
	傾 向 値	-21.7		-19.7		-17.6		-15.9		-16.1		-17.0		-18.8		-19.6			
価格動向	販 売 価 格	-0.7	0.0	1.5	-0.7	-2.3	-1.5	0.0	-0.7	-3.7	0.0	-3.7	-1.5	1.5	-3.0	-1.5	-3.7		-2.3
	〃 修正値	-2.2	0.3	-0.4	-3.6	-4.1	-2.5	-0.8	-2.6	-4.1	0.3	-4.7	-3.6	-0.5	-3.6	-2.8	-5.2	-2.3	-2.3
	〃 傾向値	-5.0		-3.0		-1.1		-0.4		-0.8		-1.8		-2.0		-1.7			
	原 材 料 価 格	20.4	17.1	19.0	17.1	16.3	15.4	26.1	11.2	20.3	21.7	24.7	15.0	27.6	21.8	18.3	22.5		19.0
	〃 修正値	19.0	18.9	17.6	14.7	14.4	13.4	25.7	10.4	18.4	23.1	22.7	12.5	26.5	18.8	18.3	21.8	-8.2	19.8
	〃 傾向値	18.1		19.2		19.2		19.7		20.4		21.1		23.3		23.7			
在庫金・繰り	原 材 料 在 庫 数 量	-1.5	-1.5	0.0	-1.5	1.5	-2.2	4.5	0.0	3.8	-1.5	3.0	0.7	4.5	2.3	3.8	4.5		5.3
	〃 修正値	-1.9	-0.8	-0.3	-1.9	2.0	-2.4	3.8	0.3	2.8	-1.2	3.3	-0.6	4.8	2.0	3.0	4.1	-1.8	5.7
	資 金 繰 り	-18.3	-15.4	-17.5	-18.6	-17.1	-20.6	-18.7	-16.3	-12.0	-19.4	-17.3	-12.0	-19.4	-15.8	-15.9	-15.8		-15.9
前年同期比	〃 修正値	-22.1	-15.4	-20.5	-22.2	-17.3	-21.7	-19.5	-18.5	-16.8	-20.0	-18.5	-16.7	-19.4	-15.5	-16.7	-17.9	2.7	-15.9
	売 上 額	-5.1		-10.2		-12.6		-13.4		-15.1		-22.4		-15.1		-12.9			
	収 益	-8.7		-12.4		-13.3		-17.9		-15.1		-20.2		-19.6		-16.6			
雇用	残 業 時 間	-1.5	-2.3	-3.7	-3.7	-6.0	-5.9	-3.0	-5.9	-0.8	-4.5	-4.5	-1.5	-5.9	-0.8	3.0	-1.5		-3.0
	人 手	-5.1	-0.8	-5.1	-1.5	-8.1	-3.7	-3.8	-6.0	-4.5	-3.8	0.0	-4.5	-0.7	-3.8	-9.1	-3.8		-9.9
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	24.8	17.0	22.1	18.7	22.2	15.6	23.9	20.1	26.3	15.7	28.6	15.8	26.9	18.2	29.0	20.6		16.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	75.2	83.0	77.9	81.3	77.8	84.4	76.1	79.9	73.7	84.3	71.4	84.2	73.1	81.8	71.0	79.4		83.2
	借 入 難 易 度	-5.4		-6.4		-8.0		-9.4		-1.9		-12.0		-10.2		-12.0			
有効回答事業所数		137		137		135		134		133		134		135		132			

製造業
地域名: 荒川区
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

平成27年10月～12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	26年		26年		26年		26年		27年		27年		27年		27年		対	28年
		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		前期比	1月～3月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.9	-5.2	-5.1	-3.7	-4.4	-3.7	-4.5	-4.5	-4.5	-3.0	-5.3	-6.1	-3.0	-2.3	-4.6	-3.8		-4.6
	実施した・予定あり	15.6	12.2	16.3	13.5	11.5	12.1	13.6	12.5	8.3	12.3	11.5	9.1	12.3	10.0	13.2	10.1		13.2
	事業用土地・建物	14.3	12.5	4.5	22.2	13.3	12.5	5.6	25.0	18.2	12.5	20.0	25.0	18.8	15.4	29.4	23.1		23.5
	機械・設備の新・増設	23.8	18.8	27.3	27.8	40.0	31.3	38.9	31.3	36.4	43.8	40.0	16.7	25.0	53.8	47.1	30.8		47.1
	機械・設備の更改	42.9	25.0	40.9	44.4	40.0	43.8	44.4	43.8	54.5	50.0	33.3	41.7	43.8	46.2	41.2	46.2		29.4
	事務機器	14.3	18.8	22.7	11.1	6.7	25.0	22.2	18.8	18.2	6.3	20.0	16.7	31.3	7.7	5.9	15.4		11.8
	車両	14.3	25.0	22.7	11.1	13.3	12.5	5.6	-	9.1	6.3	6.7	16.7	31.3	-	11.8	15.4		35.3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	84.4	87.8	83.7	86.5	88.5	87.9	86.4	87.5	91.7	87.7	88.5	90.9	87.7	90.0	86.8	89.9		86.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	46.7		46.0		48.9		49.3		50.4		56.7		45.9		47.7			
	人手不足	3.6		1.5		0.7		5.2		3.8		9.0		6.7		7.6			
	大手企業との競争の激化	5.1		10.9		8.1		8.2		6.8		9.7		8.9		6.1			
	同業者間の競争の激化	29.9		26.3		31.1		27.6		22.6		26.1		27.4		23.5			
	親企業による選別の強化	1.5		2.9		0.7		0.7		0.8		1.5		1.5		0.8			
	輸入製品との競争の激化	2.2		3.6		6.7		5.2		3.0		2.2		5.9		4.5			
	合理化の不足	5.1		5.1		3.7		5.2		3.0		3.0		3.0		6.8			
	利幅の縮小	19.7		13.1		20.0		18.7		15.0		20.9		22.2		34.8			
	原材料高	21.9		13.9		20.0		18.7		15.0		23.9		21.5		14.4			
	販売納入先からの値下げ要請	5.8		5.8		4.4		3.0		6.0		3.7		5.9		6.8			
	仕入先からの値上げ要請	7.3		6.6		5.2		6.0		6.8		3.7		11.1		3.0			
	人件費の増加	4.4		2.9		3.0		3.7		2.3		3.0		6.7		7.6			
	人件費以外の経費の増加	2.2		2.2		3.0		2.2		3.0		4.5		2.2		1.5			
	工場・機械の狭小・老朽化	5.1		4.4		4.4		2.2		6.0		6.0		6.7		3.8			
	生産能力の不足	1.5		2.9		4.4		3.0		1.5		6.0		3.0		3.8			
	下請の確保難	1.5		4.4		3.7		3.0		0.8		5.2		4.4		3.8			
	代金回収の悪化	2.2		0.7		2.2		-		-		0.7		1.5		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		0.7		-		-			
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		1.5		-			
	地場産業の衰退	1.5		2.2		3.0		3.0		2.3		3.0		3.0		2.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.7		3.6		0.7		0.7		0.8		-		1.5		0.8			
	為替レートの変動	1.5		0.7		0.7		3.0		3.0		2.2		3.0		4.5			
	その他	1.5		0.7		3.0		1.5		0.8		0.7		2.2		0.8			
	問題なし	8.0		16.8		13.3		12.7		16.5		6.7		8.9		6.8			
重点経営施策(%)	販路を広げる	67.2		60.6		62.2		67.2		62.4		66.4		66.7		69.7			
	経費を節減する	59.1		47.4		53.3		50.0		46.6		46.3		45.9		56.1			
	情報力を強化する	10.2		13.1		19.3		11.2		10.5		14.9		11.1		14.4			
	新製品・技術を開発する	13.9		19.7		14.8		14.9		15.0		14.2		17.0		14.4			
	不採算部門を整理・縮小する	2.2		0.7		1.5		1.5		3.8		6.7		3.7		3.0			
	提携先を見つける	6.6		8.0		4.4		6.0		5.3		6.7		9.6		9.8			
	機械化を推進する	3.6		1.5		0.7		1.5		2.3		3.0		2.2		3.0			
	人材を確保する	6.6		5.1		6.7		5.2		7.5		9.0		8.1		9.8			
	パート化を図る	2.2		0.7		0.7		2.2		2.3		-		0.7		-			
	教育訓練を強化する	3.6		2.2		1.5		0.7		1.5		2.2		2.2		2.3			
	労働条件を改善する	2.2		2.2		0.7		1.5		1.5		1.5		0.7		3.0			
	工場・機械を増設・移転する	2.9		2.9		5.2		2.2		0.8		0.7		2.2		1.5			
	不動産の有効活用を図る	0.7		0.7		-		-		0.8		-		0.7		1.5			
	その他	-		-		-		-		-		-		0.7		-			
	特になし	9.5		16.8		14.1		14.2		15.0		9.7		8.9		7.6			
有効回答事業所数		137		137		135		134		133		134		135		132			

卸売業
地域名： 荒川区
中分類： 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

平成27年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（予定）値です。

調査期		26年		26年		26年		26年		27年		27年		27年		27年		対 前期比	28年 1月～3月期
項	目	1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期			
業況	良　い	7.5	15.4	11.1	13.2	14.8	11.1	11.1	13.0	16.4	14.8	16.7	12.7	9.3	16.7	16.3	9.4		14.3
	普　通	45.3	42.3	51.9	41.5	46.3	51.9	50.0	50.0	49.1	50.0	44.4	56.4	51.8	53.7	49.0	51.0		57.1
	悪　い	47.2	42.3	37.0	45.3	38.9	37.0	38.9	37.0	34.5	35.2	38.9	30.9	38.9	29.6	34.7	39.6		28.6
	D　・　I	-39.7	-26.9	-25.9	-32.1	-24.1	-25.9	-27.8	-24.0	-18.1	-20.4	-22.2	-18.2	-29.6	-12.9	-18.4	-30.2		-14.3
	修　正　値	-37.3	-27.3	-27.4	-29.4	-26.6	-29.2	-32.9	-26.9	-17.4	-23.4	-24.2	-17.2	-28.4	-16.5	-24.2	-28.5	4.2	-18.3
	傾　向　値	-33.3		-33.6		-31.3		-29.7		-26.7		-23.5		-23.7		-23.3			
売上額	増　加	9.4	17.0	18.5	7.5	11.1	9.3	20.4	14.8	12.7	16.7	14.8	7.3	13.0	18.5	12.2	13.0		10.2
	変　ら　ず	54.8	50.9	50.0	54.8	59.3	59.2	53.7	55.6	58.2	57.4	53.7	65.4	53.7	57.4	53.1	57.4		59.2
	減　少	35.8	32.1	31.5	37.7	29.6	31.5	25.9	29.6	29.1	25.9	31.5	27.3	33.3	24.1	34.7	29.6		30.6
	D　・　I	-26.4	-15.1	-13.0	-30.2	-18.5	-22.2	-5.5	-14.8	-16.4	-9.2	-16.7	-20.0	-20.3	-5.6	-22.5	-16.6		-20.4
	修　正　値	-28.3	-15.9	-15.2	-30.1	-21.5	-23.8	-11.7	-17.8	-18.9	-12.9	-16.5	-18.7	-18.9	-6.8	-25.6	-15.8	-6.7	-21.9
	傾　向　値	-19.9		-21.7		-20.0		-17.5		-14.6		-13.8		-14.5		-16.9			
収益	増　加	9.4	18.9	14.8	7.5	9.3	7.4	13.0	14.8	14.5	13.0	13.0	7.3	16.7	13.0	12.2	11.1		10.2
	変　ら　ず	54.8	49.0	51.9	49.1	57.4	61.1	61.1	59.3	54.6	59.2	57.4	61.8	53.7	62.9	59.2	63.0		63.3
	減　少	35.8	32.1	33.3	43.4	33.3	31.5	25.9	25.9	30.9	27.8	29.6	30.9	29.6	24.1	28.6	25.9		26.5
	D　・　I	-26.4	-13.2	-18.5	-35.9	-24.0	-24.1	-12.9	-11.1	-16.4	-14.8	-16.6	-23.6	-12.9	-11.1	-16.4	-14.8		-16.3
	修　正　値	-27.2	-16.7	-18.1	-35.2	-27.3	-24.7	-19.4	-14.4	-18.2	-18.9	-16.7	-20.7	-13.7	-12.3	-21.1	-16.8	-7.4	-19.5
	傾　向　値	-23.4		-24.0		-23.0		-21.4		-19.2		-17.7		-16.1		-15.1			
価格動向	販売価格	3.8	7.5	1.8	1.9	-7.4	-7.4	14.8	-1.9	-1.8	12.9	-11.1	-1.8	-1.8	-9.2	-2.0	-7.4		-6.1
	〃修正値	2.7	6.5	-2.6	2.0	-9.2	-9.7	9.9	-3.3	-3.5	8.9	-11.9	-3.1	-0.8	-9.7	-6.0	-5.5	-5.2	-8.3
	〃傾向値	-0.3		1.7		0.7		1.4		2.6		0.2		-0.7		-2.1			
	仕入価格	11.4	24.5	25.9	17.0	18.5	22.2	24.1	11.1	10.9	25.9	5.6	9.1	25.9	13.0	16.3	18.5		8.2
	〃修正値	11.4	24.6	20.1	14.6	15.6	17.6	22.6	12.9	10.8	22.8	4.0	7.1	24.7	10.0	14.5	22.2	-10.2	5.8
	〃傾向値	13.2		15.4		17.8		19.3		19.9		17.3		15.7		15.7			
在庫金・繰り	在庫数量	-5.7	0.0	1.9	-7.5	0.0	0.0	14.8	-1.9	10.9	11.1	3.7	9.1	7.4	0.0	4.1	5.5		2.0
	〃修正値	-5.6	-0.5	4.2	-6.8	-1.1	2.7	11.6	-3.0	11.0	7.4	6.9	8.8	8.0	3.1	2.2	6.1	-5.8	0.4
	資金繰り	-28.3	-22.7	-20.3	-28.3	-27.8	-24.1	-22.2	-22.2	-20.0	-24.1	-24.0	-21.8	-18.5	-24.0	-24.5	-20.4		-22.4
	〃修正値	-26.5	-29.2	-19.7	-25.9	-27.6	-21.3	-25.3	-21.6	-19.3	-29.3	-24.1	-20.6	-19.0	-21.9	-26.7	-19.4	-7.7	-26.4
前年同期比	売上額	-35.9		-3.7		-11.1		-13.0		-9.1		-11.1		-11.1		-18.4			
	収　益	-34.0		-11.1		-14.8		-18.5		-14.5		-9.2		-9.3		-20.5			
	販売価格	3.8		0.0		-1.9		11.1		10.9		-5.6		9.2		-2.0			
雇用	残業時間	-5.7	-1.9	-3.7	-3.8	-3.8	-3.7	-3.7	-3.8	-1.8	-3.8	-1.9	-1.8	-3.7	0.0	-2.1	-1.8		0.0
	人　　手	-1.9	-5.6	-1.8	-3.7	-1.8	-7.5	-7.4	-5.6	-3.7	-5.6	-3.7	-5.5	-7.4	-3.8	-10.2	-7.4		-12.2
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	25.0	21.2	25.9	19.2	29.6	15.1	29.6	18.5	34.5	16.7	24.5	20.4	26.4	22.6	30.6	20.8		20.4
	借入しない/借入の予定なし(%)	75.0	78.8	74.1	80.8	70.4	84.9	70.4	81.5	65.5	83.3	75.5	79.6	73.6	77.4	69.4	79.2		79.6
	借入難易度	-16.7		-9.3		-13.3		-12.8		-13.3		0.0		-18.6		-20.0			
有効回答事業所数		53		54		54		54		55		54		54		49			

卸売業
地域名： 荒川区
中分類： 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

平成27年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		26年		26年		26年		26年		27年		27年		27年		27年		対	28年
項 目		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		前期比	1月～3月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-1.9	-3.8	-5.6	-5.8	0.0	-5.6	-3.7	-1.9	-1.8	-5.6	-1.8	-1.8	1.9	-3.7	-4.1	2.0		-4.1
	実施した・予定あり	3.9	5.8	13.2	6.0	7.5	5.8	7.4	3.8	7.4	7.4	7.4	5.6	11.5	5.7	10.4	9.8		6.3
	事業用土地・建物	-	-	14.3	-	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0	50.0	-	16.7	33.3	20.0	-		33.3
	機械・設備の新・増設	-	66.7	-	33.3	25.0	66.7	-	50.0	-	25.0	50.0	33.3	33.3	66.7	20.0	40.0		33.3
	機械・設備の更改	50.0	33.3	28.6	66.7	-	-	-	-	-	-	25.0	-	16.7	33.3	40.0	40.0		66.7
	事務機器	50.0	-	57.1	33.3	25.0	33.3	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0		-
	車両	-	33.3	-	-	50.0	-	-	-	25.0	50.0	-	33.3	33.3	-	-	40.0		-
	その他	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-	33.3	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	96.1	94.2	86.8	94.0	92.5	94.2	92.6	96.2	92.6	92.6	92.6	94.4	88.5	94.3	89.6	90.2		93.7
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	49.1		40.7		46.3		44.4		47.3		55.6		63.0		59.2			
	人手不足	1.9		1.9		-		1.9		1.8		1.9		7.4		4.1			
	同業者間の競争の激化	50.9		57.4		57.4		53.7		58.2		53.7		51.9		53.1			
	輸入品との競争の激化	5.7		7.4		9.3		3.7		16.4		9.3		7.4		6.1			
	流通経路の変化による競争の激化	9.4		7.4		3.7		14.8		10.9		3.7		3.7		4.1			
	合理化の不足	3.8		5.6		3.7		-		3.6		7.4		7.4		2.0			
	小口注文・多頻度配送の増加	3.8		5.6		5.6		3.7		1.8		3.7		5.6		2.0			
	利幅の縮小	22.6		29.6		37.0		25.9		25.5		16.7		29.6		32.7			
	取扱商品の陳腐化	1.9		3.7		3.7		1.9		3.6		3.7		5.6		-			
	販売商品の不足	-		1.9		-		5.6		1.8		1.9		3.7		4.1			
	販売納入先からの値下げ要請	5.7		7.4		11.1		5.6		5.5		3.7		7.4		8.2			
	仕入先からの値上げ要請	9.4		9.3		7.4		7.4		7.3		1.9		9.3		6.1			
	人件費の増加	1.9		1.9		1.9		1.9		1.8		3.7		1.9		2.0			
	人件費以外の経費の増加	-		1.9		-		5.6		-		3.7		-		2.0			
	取引先の減少	3.8		3.7		7.4		3.7		5.5		5.6		11.1		12.2			
	店舗の狭小・老朽化	-		1.9		1.9		1.9		-		3.7		1.9		2.0			
	代金回収の悪化	1.9		1.9		-		-		-		-		3.7		2.0			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	1.9		-		-		-		-		1.9		-		2.0			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	為替レートの変動	7.5		3.7		1.9		9.3		5.5		11.1		7.4		10.2			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.9		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		1.9		-		-			
	問題なし	5.7		11.1		7.4		9.3		12.7		5.6		-		2.0			
重点経営施策(%)	販路を広げる	64.2		66.7		70.4		61.1		70.9		61.1		75.9		81.6			
	経費を節減する	64.2		42.6		59.3		51.9		58.2		48.1		57.4		55.1			
	品揃えを充実する	18.9		29.6		24.1		25.9		29.1		25.9		25.9		26.5			
	情報力を強化する	5.7		14.8		22.2		20.4		14.5		20.4		14.8		18.4			
	新しい事業を始める	3.8		3.7		5.6		1.9		3.6		3.7		3.7		2.0			
	提携先を見つける	7.5		11.1		7.4		7.4		5.5		5.6		3.7		12.2			
	機械化を推進する	1.9		-		-		1.9		1.8		-		1.9		-			
	人材を確保する	3.8		5.6		3.7		1.9		1.8		3.7		11.1		2.0			
	パート化を図る	1.9		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	-		3.7		-		-		-		1.9		-		-			
	流通経路の見直しをする	7.5		9.3		3.7		5.6		10.9		5.6		5.6		4.1			
	取引先を支援する	-		-		-		-		-		1.9		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	3.8		1.9		3.7		-		1.8		1.9		1.9		-			
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	-		1.9		-		1.9		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	5.7		11.1		9.3		13.0		9.1		7.4		-		6.1			
有効回答事業所数		53		54		54		54		55		54		54		49			

注：各項目の右側は、前期調査における予想（予定）値です。

[illegible]

小売業
地域名： 荒川区
中分類： 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

平成27年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		26年		26年		26年		26年		27年		27年		27年		27年		対	28年
項目		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		前期比	1月～3月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.0	-4.8	-7.1	-2.0	-5.1	-6.1	-6.1	-5.1	-1.1	-6.1	-6.0	-1.0	-6.1	-5.0	-2.1	-5.2		-2.1
	実施した・予定あり	2.0	5.0	5.1	4.0	4.0	4.1	4.1	6.2	2.1	3.1	2.0	3.1	5.2	3.0	4.1	5.2		5.1
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	33.3	50.0	-	-	33.3	-	-		-
	事務機器	50.0	40.0	80.0	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-	66.7	100.0	33.3	80.0	66.7	50.0	60.0		80.0
	車両	-	20.0	-	-	-	25.0	25.0	16.7	100.0	-	-	66.7	20.0	66.7	25.0	40.0		20.0
	その他	50.0	40.0	20.0	50.0	75.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-		-
	実施しない・予定なし	98.0	95.0	94.9	96.0	96.0	95.9	95.9	93.8	97.9	96.9	98.0	96.9	94.8	97.0	95.9	94.8		94.9
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	43.1		41.6		41.0		46.9		45.9		48.0		48.0		45.9			
	人手不足	2.0		2.0		3.0		2.0		4.1		2.0		4.1		3.1			
	同業者間の競争の激化	24.5		32.7		33.0		31.6		36.7		29.0		33.7		44.9			
	大型店との競争の激化	29.4		29.7		32.0		34.7		28.6		32.0		35.7		35.7			
	輸入製品との競争の激化	-		2.0		2.0		5.1		1.0		-		1.0		1.0			
	利幅の縮小	17.6		14.9		15.0		17.3		11.2		20.0		17.3		11.2			
	取扱商品の陳腐化	1.0		3.0		2.0		1.0		2.0		1.0		3.1		1.0			
	販売商品の不足	3.9		3.0		8.0		1.0		-		1.0		1.0		1.0			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		2.0		-		2.0		1.0		-		1.0			
	仕入先からの値上げ要請	4.9		3.0		5.0		5.1		8.2		5.0		4.1		7.1			
	人件費の増加	1.0		2.0		1.0		1.0		4.1		-		2.0		4.1			
	人件費以外の経費の増加	1.0		2.0		-		1.0		-		2.0		1.0		1.0			
	取引先の減少	2.9		5.9		5.0		8.2		5.1		5.0		7.1		8.2			
	商圏人口の減少	10.8		8.9		14.0		13.3		13.3		2.0		10.2		6.1			
	商店街の集客力の低下	30.4		26.7		22.0		28.6		27.6		25.0		24.5		20.4			
	店舗の狭小・老朽化	2.9		2.0		-		1.0		2.0		2.0		3.1		-			
	代金回収の悪化	2.9		-		1.0		1.0		-		-		-		1.0			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		1.0			
	天候の不順	2.0		-		5.0		3.1		1.0		4.0		1.0		2.0			
	地場産業の衰退	2.9		2.0		2.0		1.0		1.0		1.0		1.0		3.1			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	-		1.0		1.0		-		-		-		1.0		-			
	問題なし	7.8		10.9		9.0		3.1		7.1		10.0		2.0		6.1			
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	30.4		33.7		42.0		43.9		36.7		33.0		35.7		34.7			
	経費を節減する	35.3		30.7		40.0		36.7		36.7		39.0		50.0		50.0			
	宣伝・広報を強化する	21.6		17.8		22.0		19.4		22.4		15.0		24.5		24.5			
	新しい事業を始める	1.0		2.0		1.0		2.0		2.0		3.0		1.0		1.0			
	店舗・設備を改装する	3.9		2.0		4.0		2.0		7.1		2.0		3.1		3.1			
	仕入先を開拓・選別する	14.7		6.9		9.0		12.2		6.1		8.0		5.1		8.2			
	営業時間を延長する	1.0		2.0		4.0		5.1		3.1		1.0		2.0		1.0			
	売れ筋商品を取り扱う	34.3		30.7		28.0		33.7		26.5		25.0		21.4		14.3			
	商店街事業を活性化させる	27.5		17.8		18.0		17.3		22.4		24.0		24.5		23.5			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人材を確保する	2.0		2.0		2.0		1.0		3.1		3.0		4.1		4.1			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	1.0		1.0		2.0		2.0		-		2.0		1.0		3.1			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		1.0		2.0		1.0		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	1.0		1.0		1.0		1.0		-		-		-		-			
	その他	1.0		1.0		1.0		-		1.0		1.0		-		-			
	特になし	12.7		17.8		11.0		8.2		11.2		12.0		5.1		10.2			
有効回答事業所数		102		101		100		98		98		100		98		98			

平成 28 年 2 月発行

荒川区中小企業景況調査

【発 行】荒川区産業経済部 産業振興課

荒川区荒川 2-2-3

TEL：03(3802)4672

FAX：03(3803)2333

【調 査 機 関】社団法人 東京都信用金庫協会

中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F

TEL：03(6228)8558

【分析委託業者】株式会社 サーベイリサーチセンター
